

島根県

島根県退職校長園長会

設立 昭和40年7月

1 島根県退職校長園長会の歩み

- ・昭和40年7月、小・中・高退職校長400名で「島根県退職校長会」を結成。
- ・昭和51年、準会員制を設け、現職義務教育関係学校長全員加入。同年、公立幼稚園退職園長数名加入。組織名を「島根県退職校長園長会」と改名。
- ・平成15年、現役県立高等学校長・特殊教育諸学校長が準会員として全員加入。組織が一段と拡充された。
- ・市町村合併により、支部数は19から17支部に減少したが、組織・活動の改善を図りながら、平成27年度創立50周年を迎えた。

(以後の主な歩み)

- ・平成28年10月「中国地区退職校長会連絡協議会（島根大会）」開催。
- ・令和2・3年度、コロナ禍のため総会を书面表決、研修会等の中止などを行った。
- ・令和5年10月「中国地区退職校長会連絡協議会（島根大会）」開催。
- ・令和7年度創立60周年を迎える。（正会員数1,006名、準会員数288名：令和6年度現在）

2 島根県退職校長園長会の活動紹介

(1) 創立60周年記念事業

令和7年6月20日（金）、定期総会に併せ、実施。記念式典、感謝状贈呈、記念講演、祝賀会を予定。（参考：記念講演講師は、令和7年秋のNHK朝ドラ放送予定の「ばけばけ」主人公の小泉八雲・セツさんの曾孫にあたる、小泉凡：小泉八雲記念館館長）60年の節目に相応しい事業となるよう鋭意準備を進めている。

(2) 研修会・・・17支部輪番制で、年1回開催している。各支部の遺跡・旧跡めぐりなど歴史や文化にふれる良い機会となっている。

令和6年度は、隠岐島伝統の迫力ある「牛突き」を見学しその歴史を学んだ。

(3) 支部訪問・・・毎年2支部を事務局が訪問し、各支部の現状と課題や特色ある取組等を聞き、県内に紹介している。中国地区退職校長会連絡協議会で実践発表を行っている。



(4) 県教育長と語る会・・・年1回、県教育長をはじめ、県教委幹部と懇談会、懇親会を行っている。貴重な情報交換や意見交換の場となっている。

(5) 活動の重点として、「学校現場支援」に取り組んでいる。